

《一般講演用 講演要旨原稿の書式見本》

横 100 mm, 縦 150 mm に納まるようにご用意ください。

例えば以下のページ設定 (A4 縦) のもとで、以下の通り設定すると、所定のサイズになります。

余白：上 75mm, 下 72mm, 左右各 55mm

一行字数：27 文字, 行数：27 行

フォント (和)：MS 明朝 11 pt, (英)：Times New Roman 11 pt

- 1) 著者名とタイトルの間はコロン：とする。
- 2) 共同研究の場合は、演者の左肩に“○”をつける。
- 3) 著者名：タイトルと本文の間は、1 行空ける。
- 4) 共同研究で研究者の所属が異なる場合は、“*” 記号で区別する。
- 5) 所属名には公式な略記を使用する。

○真山茂樹*・加藤和弘**・大崎博之***：珪藻が人々の環境意識に与えるインパクト：国際ウェブ教材システム「ケイソウプロジェクト」を使用した教育実践とその分析

「ケイソウプロジェクト」は学習者が珪藻から河川環境を学び、人間の河川環境への関わり方を考えると共に、国際理解・協力へ意識づけられることを目的としたウェブベースの教材システムであり、現在 17 言語によりインターネットで公開している。本システムは (1) 珪藻ビデオ、(2) 水質判定シミュレーションプログラム“SimRiver”、(3) 過去と現在の日本と世界の汚濁河川のスライドと水利用のグラフ、(4) 学習後のレポート送信・表示・自動翻訳システムの 4 つのモジュールより構成されている。

レポートシステムの開始以来、日本から送られた 156 通の記載文から、利用者が珪藻を通じて何を学んだかを解析した。人間活動と水環境と珪藻の関係を書いたものが最も多く、以下、珪藻の知識、驚き、興味、願望、評価となった。

ケイソウプロジェクトのコンテンツと教授法は PDCA サイクルにより毎年修正されている。中学生、大学生の授業、および教員研修における、事前・事後調査で得られた自由記載文を形態素解析し、単語と被験者グループで対応分析を行った。成分 1 は授業前後の変化を、成分 2 は年齢もしくは学術性、成分 3 は個人・公共 (国際) 性を示すと考えられた。教材システムの使用により、学習者の変化が示されると共に、コンテンツおよび教授法の違いにより結果も違うことが明らかとなった。

(* 東学大教、** 東大院農学生命、*** ストリームグラフ)